

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	11	事業名	国際化事業	担当部課	くらし文化部たつせがある課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	1 「やってみたい」でつながるまち	決算書 ページ	—	
	行政改革指針・重点課題	—	会計 区分	一般会計	
	法定受託事務の有無	無	予算区分(款 - 項 - 目)		
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市国際交流協会運営事業費補助金交付要綱 2-1-10 国際化事業費		
	事業開始の背景、経緯等	平成4年度にベルギー王国ワテロー市との姉妹都市友好提携締結による青少年訪問団等を通じての交流や、平成6年度に設立した長久手市国際交流協会の活動を支援するため、補助金を交付している。近年は、在住外国人数の増加により、多文化共生の必要性も高まってきていることから、R1年度から多文化共生基本計画策定に向けた事業を実施している。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可	(両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市内に生活する外国人や市民との交流を図りながら、姉妹都市交流や国際交流及び多文化共生に関する事業を推進する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 事業参加者
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 国際交流や多文化共生についての事業への参加を促し、関心や知識を深め、日本人・外国人双方にとって住みよいまちづくりを目指す。

項目	単位	区分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
			(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)
事業費(A)	千円	予算	5,933	11,452	5,281	5,789	6,299
		決算	3,294	10,365	4,354	4,304	
人件費(B)	千円	決算	5,960	6,881	7,729	8,948	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	9,254	17,246	12,083	13,252	
事業対象の数(D) (R3年度は想定数)	人		5,000	5,500	4,706	1,846	3,000
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		3	3	3	4	

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
			(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)
国際交流協会事業参加者総数	人	目標	3,300	5,000	5,000	5,000	3,000
		実績	5,000	5,500	4,706	1,846	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
国際交流や多文化共生事業を具体的に実施しているため、国際交流協会の事業参加者数を成果指標とする。			多文化共生事業の取組が増えるものの、新型コロナウイルスによる事業中止の影響を加味して算出。				
(前年から指標を変更した場合はその理由)							
(前年までの指標)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) ・コロナ禍で事業実施数が少なくなりましたが、オンラインを活用したイベントや日本語教室を開催し、コロナ禍でも開催できる方法で実施できた。 ・国際交流協会事務局が独立し、専任の職員を雇用したことで、外国人支援に取り組む体制が整った。 ・外国人の日本語教育に関するニーズが高まっていたことから、多文化共生推進プランを策定し、本市の指針等を定めることができた。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ・国際交流協会運営者の若い手不足が課題であったため、協会ホームページを見やすくリニューアルしたところ、ホームページからボランティアの問合せが増え、加入につながった例もあった。 ・イベント実行委員会を立ち上げたところ、若年層のボランティア参加者が増えた。
	改善ポイント	(改善が必要な点、改善の方法など) ・オンラインツールによって特性があるため、それを把握し、事業に合う方法で実施する。 ・多文化共生推進プランの施策を進めていくにあたり、国際交流協会との打ち合わせを定期的に行い、事業進捗の把握や進め方について調整する。

事業を構成する事務事業①	国際交流協会支援事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	1,000	1,500	1,500	2,000	2,000
		実績	976					
(2) 【アクションプラン】国際交流協会が実施する多文化共生推進事業への参加者数[単年]	人	見込	2,850	2,900	2,900	3,000	3,000	
		実績	967					
(3) 国際交流協会実施事業数	事業	見込	20	22	22	24	24	
		実績	11					
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> 国際交流協会実施事業: リモテラス実証実験ビニヤードで交流(11/28)、自宅と世界につながるオンラインチャレンジ!!(3/7)、協会P Rらし作成、協会ホームページリニューアル、日本語教室(木曜日・土曜日 各月3~4回)、英語絵本読み聞かせ等 ※コロナウイルスの影響で、開催回数及び参加者数は減少した。							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業②	多文化共生社会事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	30	10	10	30	10
		実績	28					
(2) 【アクションプラン】多文化共生推進事業実施数[単年]	回	見込	—	3	5	7	7	
		実績	—					
(3) 多文化共生推進プランワークショップ参加者数	人	見込	10	—	—	40	—	
		実績	41	—				
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> ・多文化共生推進プラン策定委員会(3回開催、のべ28人出席) ・あいち多文化共生タウンミーティングinながくて(ワークショップ)(10/12)							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業③	国際交流協会支援事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
		実績						
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性	

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) ・日本語教室運営を市の委託事業とし、日本語教室の会場確保、子ども向けの日本語教室の開催、ボランティアのスキルアップ研修等、日本語教育の強化を進める。 ・姉妹都市交流事業の内容を見直し、訪問回派遣以外で効果的な交流方法を検討し、実施する。 (いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか)
中長期の目標	・外国人相談窓口の開設に向けて、令和3年度はリモテラスを活用し、ニーズの把握や相談窓口を試験的に実施する。 ・令和3年度中に新たな交流方法をワテロー市側と調整し、実施する。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・「今後の方向性」にあるように、姉妹都市交流事業は訪問回派遣以外で効果的な交流方法を検討し、実施することとしてください。 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。
内部意見への回答	